

大分市小規模特認校制度のご案内



小規模特認校制度の趣旨と目的

緑豊かな自然環境に恵まれる小規模校で、心身のすこやかな成長を図り、体力づくりを目指すとともに、自然に触れる中で豊かな人間性を培い、明るく伸び伸びとした教育を希望する保護者・児童に、一定の条件を付し、特別に入学（転学）を認めるもので、大分市では平成10年度から初めてスタートした制度です。

小規模特認校入学（転学）の考え方

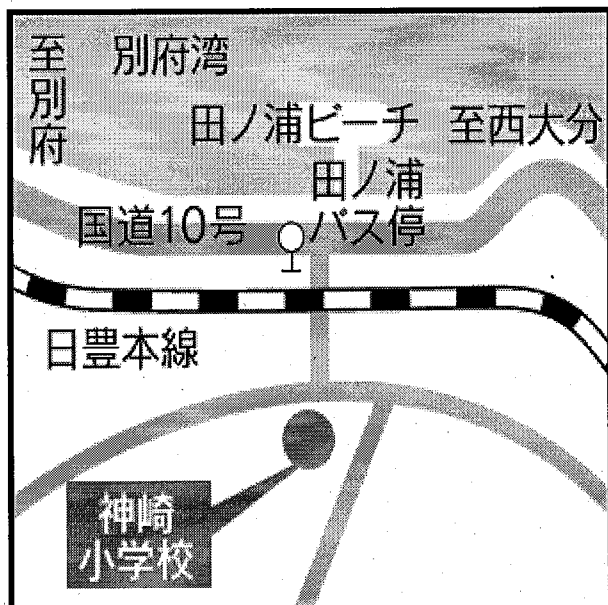
児童生徒の学校指定は、教育委員会が定めた通学区域により、学校を指定しますが、小規模特認校制度は、保護者が上記の趣旨と目的に従い、小規模校の有する特色ある環境の中で児童に教育を受けさせたいという場合に限定されるものです。

したがって、保護者が入学（転学）を希望する場合は、別に定めた入学（転学）条件について十分理解したうえで、大分市教育委員会の指定する学校に限り、入学（転学）を認めるものです。

所在地

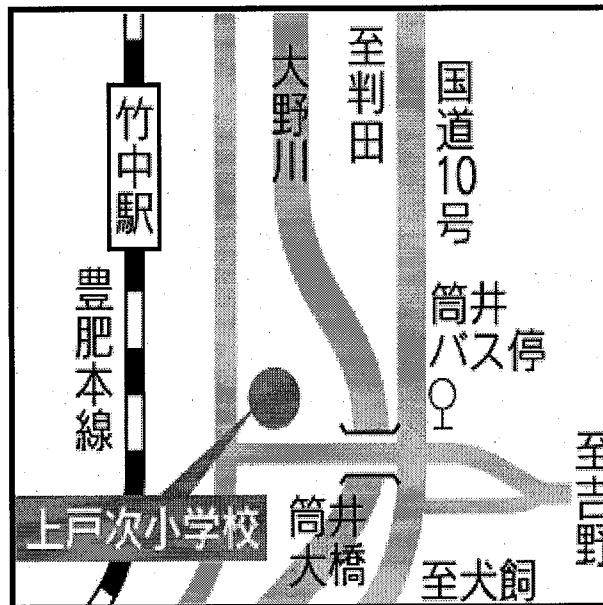
かんざき
○神崎小学校

大分市大字神崎1798番地



かみへつぎ
○上戸次小学校

大分市大字端登1792番地



入学（転学）の条件

1. 校長意見書

① 在籍小学校の校長意見書

小規模特認校への転学が適当か、趣旨に沿ったものであるか等、在籍小学校の校長意見書が必要です。ただし、新入学前の児童、市外からの転入者または市立小学校以外の在籍者で、小規模特認校への転学を希望する児童については不要です。

② 小規模特認校の校長意見書

保護者及び児童は、希望する特認校において校長の面接を受け、児童の健康、通学時の安全、通学上の条件、保護者の協力等、入学（転学）希望が小規模特認校制度の趣旨等に沿ったものであるか、校長意見書が必要です。

2. 通学上の条件

① 自宅から学校までの片道の通学時間は、約1時間以内を目安とします。

② 原則として、自力通学ができる児童に限ります。

3. 定員

各学年とも既在籍者を含め1学級以内とします。

4. 保護者の責任

登下校時における安全の確保、PTA活動の協力、その他学校の指導等に対する協力が必要です。

5. 在籍期間について

概ね1年間以上の通年通学に限ります。

6. 入学（転学）の取り消し

入学（転学）を許可した後、虚偽の申請又は、小規模特認校制度の趣旨・目的に合わない事由が生じ、支障があると認められるときは、入学（転学）を取り消すことがあります。

7. その他 小規模特認校区の中学校進学を可能とします。

申請手続きについて

（来年度新1年生の児童の場合）

1月下旬に大分市教育委員会から指定校が記載された入学通知書を送付しますので、特認校の了解を得たうえで、入学通知書と印鑑を持参して教育企画課へ申請してください。

（在籍児童の場合）

在籍小学校、小規模特認校で校長の面接を受け、両校の了解を得たうえで、印鑑を持参して教育企画課へ申請してください。ただし、市外からの転入者又は市立小学校以外の在籍者で、小規模特認校への転学を希望する児童については、在籍小学校長の意見書は不要です。

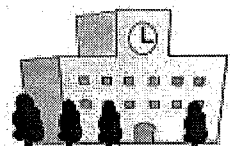
竹中中学校の試行的実施

平成27年4月1日から平成30年3月31日までの間、竹中中学校を試行的に実施します。この場合において、「児童」とあるのは「生徒」と読み替えて適用します。

なお、竹中中学校へ新入学を希望する者（市外からの転入者及び市立小学校以外の在籍者を除く。）は、在籍小学校長の意見書を必要とします。

●お問い合わせ先

大分市教育委員会 教育企画課 電話097-537-5903





◆別大国道沿い、高崎山
のふもとに位置し、
4階建ての校舎から
は、別府湾が一望でき
ます。



◆田ノ浦ビーチ・うみた
まごはすぐそばに、山
側にはびわ畑は並び、
豊かな自然に囲まれ、
落ち着いた環境です。



少人数の特性を生かし、体験学習を通して、一人ひとりの興味や意欲を引き出し、伸ばしていきます。

のびのびと

自然に囲まれて!

めざす子どもの姿
学ぶ子 あたたかい子 きたえる子

地域と

連携して!

個別学習で個性ややる気を引き出します。基礎・基本の定着を図り、自ら考える子の育成をめざします。

- 少人数のよさを生かし、一人ひとりの課題を見つけ、その場で評価しながら困りを早期に発見し、個別指導をします。
- 教具も全員が豊富に使い、体験学習や具体物での操作活動を多く取り入れ、興味ややる気、自ら考える力を引き出します。
- 週2回の朝学習タイムで、毎日の神崎タイムでの繰り返し学習で、基礎・基本の定着を図ります。
- 読書会(火)・朝読書タイム(木)を通して、全ての教科の基礎となる言語力、表現力、読解力、創造力を育みます。

縦割り班(異年齢集団)の交流活動で、達成感、自尊心を育み、人間力を高め、一人ひとりをたくましく伸ばします。

- 異年齢集団で支えたり支えられたりすることで、成し遂げる喜び、自分が役立っているという思いを得、自尊心や相手を思いやる心が育ちます。
- 高学年はリーダーとして、児童会や実行委員会での企画や運営に主体的に携わり、低学年はかいつまひ協力し合うことで、成就感を味わい、頑張る高学年の姿に目標を持つことができます。
- 生活科や総合的な学習の時間を活用して、様々な体験学習を組みます。週に1度は「レインボータイム」を設け、縦割り班での活動をしたり、新しい企画の話し合いをしたりします。

体験活動の風景

様々な教育活動



びわの袋かけ



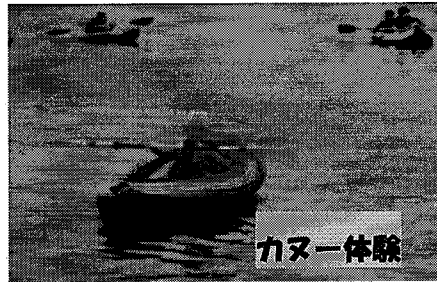
びわの収穫



昔遊び集会



シュノーケリング



カヌー体験



しめ縄集会



スケート体験



シーサイドマラソン



地域との合同運動会

地域の方々とふれあい、保護者の方々の協力を得ながらの様々な活動から、地域の伝統や文化を学び、知恵を得、子どもたちの心を豊かに育てていきます。

一人一人が輝く学校 上戸次小学校で学びませんか

学校教育目標

「たくましく心豊かな子どもの育成」

こんな子どもをめざします。

- ・進んで考える子
- ・助け合う子
- ・がんばる子



一人一人を伸ばします

少人数を活かし、一人一人の意見や表現活動を大切にしたり、個に応じたきめ細かい学習指導を行っています。

非常勤講師の活用や日課表を工夫し、複式学級の4教科（国語、算数、理科、社会）における単式授業の取組を進めています。



豊かな体験活動で
心を育てます

学校は保護者・地域に支えられ、子どもたちは地域に見守られ、育てられています。



総合力 上戸次小学校

縦割り班活動で
仲間づくりを進めます

緑あふれる自然の中で、稲作を中心とした体験活動を通して、豊かな感性を育てています。

特色ある教育活動

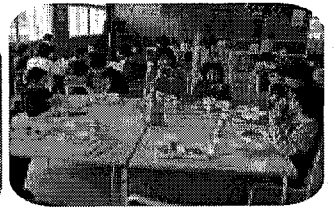
学校行事や縦割り班の活動を
中心に、認め合い支え合う仲間
づくりを進めています。



稲作活動を行っています。種もみをまき、苗に育てます。全校での田植え、稲刈り。収穫した餅米は、給食や餅つき大会に使います。みんなで食べるだけでなく、お餅をつき、地域のお年寄りに配っています。籾殻での焼き芋作りもあります。稲作は、1年間を通した中心となる活動です。



バイキング給食



全校給食会

親の力

PTA主催のどんこ釣り大会、地域・PTAの協力で開催される運動会など、親の力、地域の力に支えられて活力ある学校づくりを進めています。

地域の力

親子キャンプ



ドラム缶風呂

どんこ釣り大会



子ども神楽お披露目



希望者による子ども神楽クラブ、ミニバスケットボールクラブも保護者・地域の方々の努力によって続いています。



運動会・相撲大会



運動会の時は、PTAだけでなく卒業生も係の仕事を受け持ってくれます。

午後は恒例の相撲大会です。全員が四股名を持ち、横綱・大関をめざし取り組みます。